



オムスワは Okayama Medical Social Worker Association の頭文字の略語です。

岡山県医療ソーシャルワーカー協会事務局：玉島病院内 倉敷市玉島乙島 4030 <https://omswa.org/>



「光陰矢の如し」・・・年齢を重ねていくとより実感が湧いてしまいます。
1日1日の時間を大切にしたいですね。



研修部からのお知らせ

＜研修案内＞

- ・MSWの専門性の向上にむけて各コース様々な研修企画を予定しておりますので、ぜひ皆様の研鑽の機会にご活用ください。皆様、どうぞお誘いあわせの上で参加ください。
- ・当協会の研修にご参加される方で、施設長宛に公文書が必要な方は、2週間前までに以下のメール（※）へ下記内容をご連絡ください。その際、タイトルに「公文書の依頼」としてください。

※ご依頼メール先：omsw.kyouikukenshubu@gmail.com 宛先：研修部長/片岡（岡山旭東病院）

①所属、②氏名（基礎コースの場合のみ〇年目）、③施設長名、④送付先と方法/施設長宛に直接郵送か本人へメールの可否、などをご記載ください

●基礎コース研修（1～3年目のA会員）

【第4回 基礎コース研修】（全体）

日時：2026年1月17日（土） 午後

方法：集合研修

会場：倉敷中央病院

内容：事例検討

問い合わせ：玉島協同病院 MSW 八谷 TEL：086-523-1234

【第5回 基礎コース研修】（全体）

日時：2026年2月14日（土） 1日研修

方法：集合研修

会場：調整中

内容：①講演「自己覚知について」

講師：川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 教授 竹中麻由美 先生

②グループワーク 「1年間の振り返り」

問い合わせ：玉島協同病院 MSW 八谷 TEL：086-523-1234

※上記研修の注意事項

- *基礎コース研修登録申込は終了しています。
- *医療機関での研修となりますので、マスクの着用をお願いします。
- *本研修は日本医療ソーシャルワーカー協会「認定医療ソーシャルワーカー」のポイント申請を予定しています。



●ステップアップコース研修（4～概ね7年目程度のA会員）

ステップアップコース研修に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。
今後はアンケート結果を踏まえながら研修計画を行って参りたいと思います。

【第2回 ステップアップコース研修】

テーマ：『連携・協働・ネットワーク』

～情報化社会におけるネットワーク構築とSWの専門性を学ぶ～

ソーシャルワーカーとして、連携・協働・ネットワーク作りを行うことは、クライアントの社会資源を「つくる・守る」うえでとても重要な役割を担っています。近年ではAIの発展や情報過多の時代において、ソーシャルワーカーとしての役割や視点をさらに磨き、「自分たちは何者なのか」を意識した実践が求められてきています。今回は、コロナ禍で制限の多い業務を経験したステップアップ世代の皆さんとともに、ソーシャルワーカーとしてアセスメントを基に患者・家族に寄り添い、望む生活を実現するために、何を大切にして連携・協働・ネットワーク作りを行うのかを改めて考える場にしたいと思います。

講義では、ソーシャルワーカーとしての専門性を意識した連携や、他機関の視点・価値観の理解、そしてクライアントが自ら選択・意思決定できるよう支えるためにクライアントにとって必要な情報を提供する力を身に付ける方法を学びます。グループワークでは、日頃の業務を振り返りながら意見交換を行い、今後の実践につなげていきたいと思います。

対象：ステップアップコース対象者は、4年～概ね7年のA会員ですが、ステップアップコースアンケートの要望からライフステージの変わる世代であることを考慮し、この度の研修は10年程度まで対象者を拡大いたします。

日時：2026年2月28日（土） 14:00～16:30（受付13:30～）

方法：対面研修

会場：岡山県生涯学習センター 4階 中研修室

内容：①講義 ②グループワーク

講師：岡山県医療ソーシャルワーカー協会 宗好 祐子氏（日本赤十字社 岡山赤十字病院）

申し込み：2026年2月27日までに、右記QRコードをご利用下さい。

注意事項：グループワークを伴いますので、マスク着用は必須となります。ご理解下さい。

問い合わせ先：岡山ひだまりの里病院 MHSW 板野 TEL：086-267-2011（代表）



●専門コース研修（7年目以上のA会員）

【第1回 専門コース研修】 ※全体研修を兼ねる（全A会員対象）

テーマ：『スクールソーシャルワーカーの活動について学ぶ』

不登校、いじめ、虐待、貧困、ヤングケアラー、自殺など、こども達が困難を抱えている時にMSWとして具体的にどのような関わりから支援に繋げていけばよいのか分からないことがあると思います。こどもへの直接的な支援のない方も、支援する家庭に問題を抱えたこどもがいる可能性があります。

今回の研修では、こども達の一番近くで支援に携わるスクールソーシャルワーカーの先生から、日々の活動や支援の実践、関係機関との連携、MSWとしてこども支援に必要な視点などを学ぶ機会としたいと思います。

日時：2025年12月20日（土） 14:00～15:30（受付 13:30～）

集合場所：岡山済生会総合病院 正面玄関前

（会場は職員専用エリアのため自由な出入りができません。）

担当者が会場まで案内いたします。13:55までにお集まり下さい

会場：岡山済生会総合病院 管理棟4階 さいゆうホール

講師：香川スクールソーシャルワーカー協会 会長 岡本久仁代氏

申し込み：12月15日（月）までに、下記QRコードから申込をして下さい。

問い合わせ：岡山済生会総合病院 MSW 瀬崎 TEL：086-252-2211（代表）



【第2回 専門コース研修】（7年目以上のA会員）

テーマ：『MSWの業務マネジメント～教育編～』

第2回目の専門コースは2024年に研修を開催した「MSWの業務マネジメント」について、第2弾を企画いたしました。今回はMSWが業務マネジメントを行う意義や必要な視点について学びました。今回は「教育編」とし、中堅層の人材育成の視点や、具体的なマネジメント・ルーブリックの内容、また、大人の学びなどについて講義とグループワークを予定しております。日頃の悩みも共有しながら、MSWが成長できる環境作りについて具体的な方法が学べる研修だと思っておりますので、ぜひご参加ください。

日時：2026年1月31日（土） 13:30～17:00（受付13:00～）

場所：倉敷スイートホスピタル 5F スイートホール

（倉敷市中庄3542-1 / TEL:086-463-7111）

→駐車場に限りがありますので乗り合わせまたは電車をご利用にご協力ください

講師：日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 保正 友子先生

内容：講義、グループワーク

申し込み：12月27日(土)までに QRコードにてお申し込みください

問い合わせ：倉敷スイートホスピタル MSW 新名

TEL:086-463-8111（直通）



●全体研修/公開講座

【2025年度 公開講座】

テーマ：『もしもの時のために今できること～医療・介護・福祉の現場から～』

近年、医療・介護の現場では「自分らしい生き方・最期の迎え方」を考え、話し合うことの大切さが注目されていますが、病気や認知症などにより自分の意思や希望を伝えることが難しくなることもあります。「もしもの時」に備え、自分が大切にしたいことや希望する医療・ケアについて信頼できる人と話し合っておく「ACP」の必要性が高まっています。

今年度の公開講座では医療・介護の支援に携わっている専門職の報告を聴き、現状や課題を共有し「自分らしく生きる」ことについて考えてみたいと思います。

対象：一般、医療・介護・福祉関係者、協会会員

日時：2026年2月21日（土） 14:00～16:00 （13:30～受付開始）

方法：対面研修

会場：岡山国際交流センター 8階イベントホール

※会場には一般駐車場がありません。公共交通または最寄りの駐車場をご利用ください。

演者：①あさのクリニック 院長 浅野 直 氏

「ACPって何のため？誰のため？」

②泉介護支援センター 介護支援専門員 秋山尚子 氏

「ACPにおけるケアマネジャーの役割について

～本人の思いを形にする支援～

③かとう内科並木通り診療所 MSW 横山幸生 氏

「最期まで安心して希望の暮らしをつづけるための支援

～医療ソーシャルワーカーの立場から考える～

定員：130～180名

参加費：A会員/無料 B会員/500円 一般/500円 学生/無料

申し込み：Peatixによる事前申し込み

<申し込みURL> <https://omsw2026koukaikouza.peatix.com>

締め切り：2026年2月13日（金）まで

問い合わせ：岡山赤十字病院 MSW 宮松 TEL:086-222-8811（代表）



事務局からのお知らせ

【2025 年度第 5 回理事会報告】

日時：2025 年 11 月 4 日(火) 18:00~20:00

場所：ZOOM ミーティング

- 議事：1. 各部事業報告・計画
2. 2026 年度社員総会について
3. 大規模災害発生に備えての体制整備について
4. ソーシャルワーカーデーについて
5. 長島大橋架橋記念日のシンポジウムについて
6. 国民医療を守るための総決起大会出席者の選定について
7. その他 関連団体会議等報告、後援依頼等



【岡山プライマリ・ケア学会 第 32 回学術大会 研究発表演題募集について】

日時：2026 年 3 月 15 日(日) 10:00~16:30

会場：岡山県医師会館 401 会議室、402 会議室

(岡山市北区駅元町19-2)

テーマ：ACP について

※募集要項等詳細は案内が届き次第周知いたします。

【関連団体研修会等のお知らせ】

ホームページの会員専用ページにて、他県協会等関連団体の研修情報(既掲載含む)もご覧いただけます。「岡山県医療ソーシャルワーカー協会」で検索していただくか、QRコードをご利用ください。

・岡山県がん診療拠点病院第 19 回公開講座

日時：2026 年 1 月 25 日(日) 13:00~15:00

会場：岡山大学病院内 Junko Fukutake Hall + WEB ライブ配信

講演「患者と医療者が協働する医療」

講師：認定 NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML

理事長 山口 育子 氏

参加方法：申込不要

詳細は添付の PDF チラシをご覧ください。

・日本総合病院精神医学会無床フォーラム 2025

テーマ：地域に求められる無床総合病院精神科を目指して

日時：2026 年 1 月 25 日(日) 13:30~15:30

開催形式：完全 Web 開催

参加費 2000 円(会員・非会員問わず)

演題

「無床総合病院と自殺対策」臼杵 理人先生(災害医療センター)

「無床総合病院と認知症医療拠点」渋谷 譲先生(日本海総合病院)

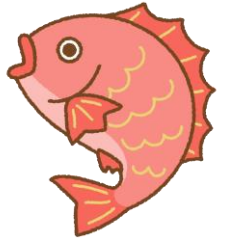
「無床総合病院と将来」大矢 希先生(京都第二赤十字病院)

申込等詳細は添付の PDF チラシをご覧ください。



編集担当者の小部屋（編集後記）

先日、知人から50センチ近い新鮮な鯛を頂きました。
恥ずかしながら今まで魚を捌くという経験がなく、YouTube を見ながら見様見真似でトライし、
悪戦苦闘すること1時間・・・たった5切れ程度しか刺身にできず。
鯛には申し訳なかったと思いますが、今度はもっと上手く捌きたいという気持ちが芽生えたのも
事実。50の手習いとはまさにこのことか。
残った鯛については、アラの煮つけにして美味しく頂きました。（M.O）



☆今月の担当は、大森（松田病院）、井上（倉敷中央病院）、丹正（倉敷記念病院）でした。

1 月号の担当は、岡（金光病院）、遠藤（吉備高原医療リハビリテーションセンター）、上村（倉敷成人病センター）です。

尚、原稿を依頼される場合は、下記（広報出版部）のメールアドレスまでお送りください。

締め切り 12月15日（木）必着 （年末のため締め切りが早くなっています。ご注意ください）

広報出版部アドレス→ omswa.kouhousyuppanbu@gmail.com

岡山県がん診療
連携拠点病院
第19回
公開講座

一人ひとりが
いのちの主人公で
からだの責任者。



講演

「患者と医療者が協働する医療」

認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML
理事長

山口育子氏



日時/2026年1月25日(日)

13:00~15:00 (12:30~受付開始)

《会場+WEB》
ハイブリッド開催
事前申込不要 参加費無料

会場/Jホール 岡山大学病院内 Junko Fukutake Hall + [WEB ライブ配信]

主催/岡山大学病院

後援/岡山県がん診療連携協議会、岡山県、岡山市、岡山県医師会、岡山市医師会、岡山県看護協会、岡山県薬剤師会、岡山県病院薬剤師会、岡山県医療ソーシャルワーカー協会、中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム
問い合わせ先/岡山大学病院 医事課診療支援担当 TEL.086-235-7072 (問い合わせ時間 平日 8:30~17:00)

岡山県がん診療連携拠点病院
第19回 公開講座

●
テーマ

患者と医療者が
協働する医療



● 講師

認定 NPO 法人
ささえあい医療人権センターCOML
理事長

山口育子氏

日時/2026年1月25日(日) 13:00~15:00
(12:30~受付開始)

会場/Jホール 岡山大学病院内 Junko Fukutake Hall + [WEB ライブ配信]

本講座は、岡山県におけるがん診療連携拠点病院およびそのがん相談支援センターの役割について、広く一般に理解を深めていただくことを目的として毎年開催しており、今回で第19回を迎えます。

近年、がん治療においては、患者一人ひとりの価値観や生活背景を尊重した治療の選択がますます重視されるようになっていきます。そうした中で、患者自身が自らの思いや暮らしを医療者に伝え、共に治療方針を考えることが求められるようになりました。

このような背景を踏まえ、患者と医療者がより良いコミュニケーションを築き、協働する医療の実現、また患者が主体的に医療参加することを目標として活動されている山口育子氏を講師として招聘します。

本講座を通じて、参加者の皆さまが自分らしく生きる力を育み、がんとの向き合い方について新たな視点を得る機会となることを願っております。

◎参加方法 (いずれの場合も申込不要です)

1. 会場参加の場合 当日会場にお越しください。

2. WEB 参加の場合

当日お時間になりましたら、以下ページに記載の URL よりご視聴ください。

(zoom ウェビナーによるライブ配信)

https://okayama-u-acc.jp/shimin_kouza_2025/

岡山大学病院連携センター 公開講座 検索

※開催状況についてもこちらのページでお知らせします。



プログラム

13:00	開会挨拶 岡山大学病院 院長 前田高信
13:05	岡山県保健医療部疾病感染症対策課挨拶・報告
13:15	がん相談支援センターからの情報提供
13:30	講演 「患者と医療者が協働する医療」 講師：認定 NPO 法人ささえあい医療人権センター COML 理事長 山口育子氏
15:00	閉会挨拶 岡山大学病院 連携センター長 市原英基

《会場》J ホール 岡山大学病院内 Junko Fukutake Hall 岡山市北区豊田町2-5-4



《会場までのアクセス》

■岡山駅西口から徒歩15分(約1.2km) 岡山駅西口から徒歩15分(約1.2km) 岡山駅西口から徒歩15分(約1.2km)
■岡山駅東口から徒歩15分(約1.2km) 岡山駅東口から徒歩15分(約1.2km) 岡山駅東口から徒歩15分(約1.2km)
■岡山駅南口から徒歩15分(約1.2km) 岡山駅南口から徒歩15分(約1.2km) 岡山駅南口から徒歩15分(約1.2km)
※会場周辺は公共交通機関で利用可能。駐車場は有限です。参加には事前予約が必要です。あらかじめご了承ください。

日本総合病院精神医学会無床フォーラム 2025

地域に求められる
無床総合病院精神科を目指して

2026.1.25 (日)
13:30 ~ 15:30 (Web)
参加費 2000円
座長：平 俊浩 (福山市民病院)
佐伯 吉規 (がん研有明病院)

【演題】

白杵 理人
(災害医療センター)
「無床総合病院と
自殺対策」

渋谷 謙
(日本海総合病院)
「無床総合病院と
認知症医療拠点」

大矢 希
(京都第二赤十字病院)
「無床総合病院と
将来」

【ディスカッション】

「無床総合病院精神科が果たすべき地域貢献と未来像」

今、総合病院精神科の地域での役割に、政策的な注目が集まっています。
どうすれば、地域に求められる総合病院精神科になれるのか？
認知症、がん対策、自殺対策、児童・思春期など、多様な貢献が求められる中、
本フォーラムでは、各地域で特色ある取り組みを行う医療機関の実践を共有し、
無床精神科を地域で維持していくための戦略について皆さんと議論を深めます。

問い合わせ先
日本総合病院精神医学会
無床総合病院精神科委員会
厚坊浩史 (事務局)

URL: <https://x.gd/k2fdE>
mail: ghpmushof@gmail.com
右記QRコードからでも申し込みます
日本精神神経学会専門医C群1単位
日本総合病院精神医学会専門医10単位



以下はオムスワ編集後に届いた情報を事務局が追加しました。

倉敷権利擁護支援フォーラム

https://kurashikisyakyo.or.jp/news/news_27374/

(倉敷市社会福祉協議会リンク)

第17回倉敷権利擁護支援フォーラム

自分らしい日々をずっと

～もし、私の家族が若年性認知症だったら～

2026 1/25 (13:00開場) (日)13:30～15:30

ライフパーク倉敷 大ホール (倉敷市福田町吉新田940)

第1部：基調講演①「ご存じですか？若年性認知症」
講師 岡山県立大学 教授 竹本与志氏

第2部：基調講演②「家族として向き合う若年性認知症」
講師 一般社団法人はるそら 多田 美佳氏

第3部：トークセッション「自分らしい日々を支えるために」

■定員300名 ■参加費無料 ■どなたでも参加可能
【お申込方法】電話もしくはFAXで下記へお申し込みください。
(FAXの場合は裏面参照)

参加申込・問合先/社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会
地域福祉課 (倉敷市笹沖180番地)
TEL: 086-434-3301 FAX: 086-434-3357
E-mail: tiikifukushi@kurashikisyakyo.or.jp

主催: 社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会
共催: 倉敷市、岡山県社会福祉協議会
後援: 倉敷市、岡山県社会福祉協議会

倉敷市
人権啓発活動事業費
補助対象事業

FAX: 086-434-3357

参加者氏名	連絡先	役職 (該当する欄所に○を記入)
		民生委員、児童委員、災害委員、地区協議、NPO、ボランティア コミュニティ協議会、サロニール代表、高齢者支援センター 一般参加 その他
		民生委員、児童委員、災害委員、地区協議、NPO、ボランティア コミュニティ協議会、サロニール代表、高齢者支援センター 一般参加 その他

【会場のご案内】
ライフパーク倉敷 大ホール
倉敷市福田町吉新田940

【当日のタイムスケジュール】

13:00 受付開始
13:30 開会
13:40 基調講演①
14:15 基調講演②
14:50 トークセッション
15:30 閉会

倉敷市社協
ホームページ

ライフパーク倉敷
ホームページ

コーディネーター・活動報告者等紹介

岡山県立大学 保健福祉学部 現代福祉学科 教授 竹本 与志氏

最終学歴：大阪市立大学大学院 生活科学研究科 後期専攻課程 生活科学専攻修士 博士 (生活科学)
医療機関においてソーシャルワーカーとして20年従事した後に、2008年より岡山県立大学保健福祉学
部専任教授、2019年4月より現職。
2017年11月：日本学術会議 連携会員 (現在に至る)
2023年4月：大阪公立大学大学院 生活科学研究科 客員教授 (現在に至る)
2025年4月：岡山県立大学 学術研究推進センター センター長 (現在に至る)
専門：社会福祉士 (医療福祉、精神保健福祉)
資格：社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、ほか
著書：竹本与志氏、杉山京、木村隆子編『認知症のある人への経済支援まるわかりガイドブック』
中央法規出版、2024、ほか

一般社団法人はるそら 代表理事 多田 美佳

若年性認知症の当事者や家族の支援に尽力している。夫が48歳で若年性認知症と診断された経験
をきっかけに、2019年に「一般社団法人はるそら」を設立。診断後の「空白の期間」に焦点を当
て、相談支援や居場所づくりを通じて孤立を防ぐ活動を展開。介護福祉士、認知症ケア専門士とし
て、講演や啓発活動も積極的に行っている。